保証書

マイコン沸とうVE電気まほうびん保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	CV-TT22/CV-TT30/CV-TT40	修理メモ
※お客様　お名前	☎	
※お客様　ご住所　〒		
※お買い上げ日　年　月　日	※販売店名・住所	
保証期間　お買い上げ日より　本体1年	☎	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1．ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
（チ）消耗品などの交換。
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4．本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内
部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

お客様ご相談センター　ナビダイヤル　**0570-011874**
市内通話料金でご利用いただけます
受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
● 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………… Tel (06)6356-2451
● ファクシミリでのお問い合わせ……… Fax (06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

●お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

CV-TT

愛情点検　長年ご使用のマイコン沸とうVE電気まほうびんの点検を！

こんな症状はありませんか
●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●保温ランプに切りかわらないときがある
●その他の異常や故障がある

▶ ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

CV-TT 型 Ⓒ Ⓑ Ⓐ

家庭用

ZOJIRUSHI

マイコン沸とう
VE電気まほうびん
優湯生（ゆうとうせい）

型名
CV-TT22型
CV-TT30型
CV-TT40型

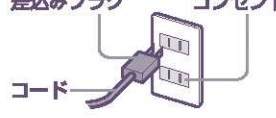
取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水に浸けたり、水をかけたりしない
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁止

蒸気口をふきんなどでふさがない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
上ぶたの変形・変色や故障の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

禁止

満水表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

上ぶたをつけたまま残り湯を捨てない
上ぶたがはずれたときに湯がかかって、やけどの恐れがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない
自動給湯ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

ポットを転倒させない
自動給湯ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

上ぶたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

禁止

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない
泡立ちが起こり、内容物がふき出して、やけどの恐れがあります。また水路が詰まったり内容器の焦げつきや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。
- 牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
- インスタント食品の調理
- レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠警告

禁止

マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

マグネットプラグをなめさせない
感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

必ず実施

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

上ぶたは確実に閉める
倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

内ぶたパッキンが白く変色したら交換する
傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

必ず実施

異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
- 差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
- コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
- 本体が変形したり、異常に熱くなる
- 本体から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
- 本体の一部が割れたり、緩みやがたつきがある
- 蒸気が10分以上出続け、保温に切りかわらない

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注意

接触禁止

上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない
やけどの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの恐れがあります。

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

湯沸かし中は、湯を注がない
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない
上ぶたが開いて、けが・やけどの恐れがあります。

禁止

出湯中に本体を回さない
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

熱源のそばやIH調理器の上で使用しない
火災・故障の原因になります。

専用の電源コード以外は使用しない
電源コードは他の機器に転用しない
また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■**本体を引きずって移動しない**
机などに傷がつく恐れがあります。

■**落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない**
故障・破損の原因になります。

■**キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する**
変色・変形の原因になります。

■**凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる**
凍結による故障の原因になります。

■**空だきはしない** 火災・故障の原因になります。

■**ラジオなどの近くで使用しない**
ラジオ・テレビ・無線機・インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

■**他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■**操作部・水量表示部には湯がかからないように注意する**
故障の原因になります。

各部のなまえと扱い方

上ぶたを開閉するときに「カタカタ」という音がしますが、異常ではありません。 →P.18

上ぶた開閉つまみ

蒸気口

●湯沸かし時に蒸気が出て高温になるので注意してください。

上ぶた

内ぶたパッキン

●内ぶたパッキンが白く変色したら交換してください。（有料）→P.14
傾けたり誤って倒したときに、湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

内ぶた

湯捨て位置

ここから湯を捨てる

ヒンジ部

満水表示

内容器（フッ素加工）

ハンドル

操作部

注ぎ口

ここから湯が出る

水量表示部

本体

給水表示

●必ず表示以上水を入れてください。

プラグ差込み口

マグネットプラグを差し込む

容器ネット

●お手入れ後、忘れずに取りつけてください。→P.15

回転底

●回すときは本体にコードが巻きつかないようにしてください。

電源コード

マグネットプラグ

差込みプラグ

結束バンド

コード

●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

操作部

●キーは確実に押してください。

セーブランプ

湯沸かしランプ

「沸かす」キー

再沸とうするときに使う→P.9

セーブコースにするときに使う→P.12

省エネモード選択時に、元の設定温度に復帰するときに使う → P.12

クエン酸洗浄するときに使う（3秒以上押す）→P.16

「保温設定」キー

保温温度を設定するときに使う→P.10

保温ランプ

「給湯」キー

給湯するときに使う→P.8

中央の（●）は、目の不自由な方に配慮しています。

ドリップランプ

ロック解除ランプ

「ロック解除」キー

給湯するときに使う→P.8

カフェドリップ給湯するときに使う → P.14

「省エネ/タイマー」キー

省エネモード/節約タイマーを設定するときに使う → P.12

表示部

湯温・タイマーの時間などを液晶で表示します。

すべてを表していますが、お使いになる中でこのような表示はしません。

上ぶたの開け方・閉め方

開け方 ❶「上ぶた開閉つまみ」のくぼみを押す
❷そのまま引き上げ、上ぶたを開ける

閉め方 上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

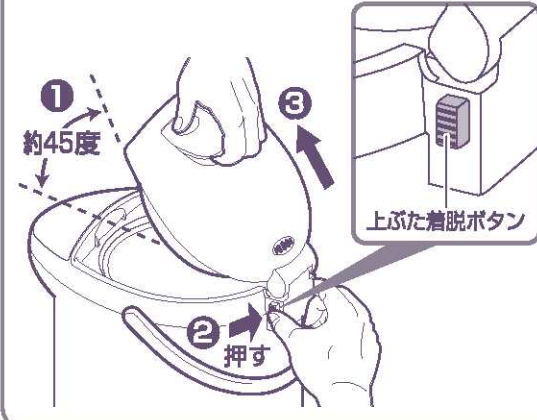
上ぶたのはずし方・つけ方

はずし方 ❶上ぶたを約45度開ける
❷「上ぶた着脱ボタン」を押す
❸押したまま、斜め上に引き抜く

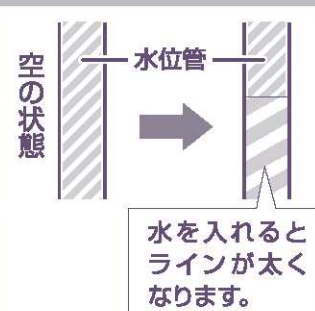
つけ方 斜め上から奥に元どおり押し込む

約45度

上ぶた着脱ボタン

押す

湯を沸かす

1 上ぶたを開け、別の容器で 水を入れる

水位管のラインの太さがかわり水量がひと目で分かります。

お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。（本体に水が入り故障の原因）
- 本体および操作部に水がかからないように注意してください。（水が入り故障の原因）
- 「満水表示」以上、水を入れないでください。（蒸気口から湯がふきこぼれる原因）
- 熱湯を入れないでください。（空だき防止機能がはたらく原因）→P.9
- 水以外のものは入れないでください。
- 市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まり故障の原因）

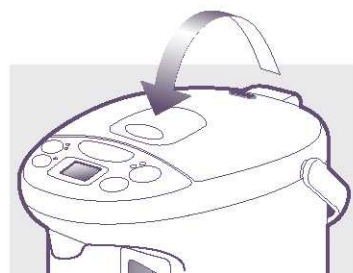
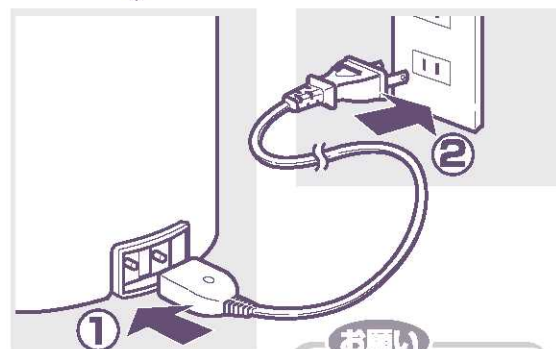
使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

●初めてお使いになるとき
●長期間お使いにならなかったとき

一度満水表示まで水を入れ、手順通りに湯を沸かしてください。その後、1L程度給湯し残り湯を捨ててから、お使いください。（容器ネットは必ず取りつけてください。）

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れをしてください。

2 上ぶたを閉め プラグを接続する

上ぶたは確実に閉めてください。
（倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れ）

奥までしっかり差し込んでください。
（感電・ショート・発煙・発火の原因）

お願い

- マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させないでください。

自動的に湯沸かしを開始

湯沸かしランプが点灯し、液晶表示部に水温を5℃きざみで表示する

セーブコースに設定したいときは… →P.12

湯沸かしが完了すると

自動的に保温を開始（90保温）

湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯し、液晶表示部に「100」を表示します。

約90℃になると液晶表示部の温度表示が「90」にかわります。

98 90 80 90 省エネ 70 まほうびん

湯沸かしが終わるまでの時間	
2.2Lの場合	約21分※
3.0Lの場合	約26分※
4.0Lの場合	約32分※

（室温23℃・水温23℃・満水の場合）

※この時間は沸とう後のカルキとばし時間（約3分）を含みます。

湯沸かし完了後、湯温が約90℃になるまでの時間	
2.2Lの場合	約1時間10分
3.0Lの場合	約1時間20分
4.0Lの場合	約1時間40分

（室温23℃・満水の場合）

● 保温の設定 ●	
98保温	→P.10
80保温	→P.10
70保温	→P.11
まほうびん保温	→P.11

お願い

- 保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。（自動的に湯沸かしが始まります。）
  ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯沸かしにならない場合があります。その場合は「沸かす」キーを押してください。→P.9
- やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
  - 蒸気口にふきんをかけない
  - 蒸気口から出る蒸気に注意する
  - 湯沸かし中は上ぶたを開けない
  - 湯沸かし中は湯を注がない

湯を注ぐ

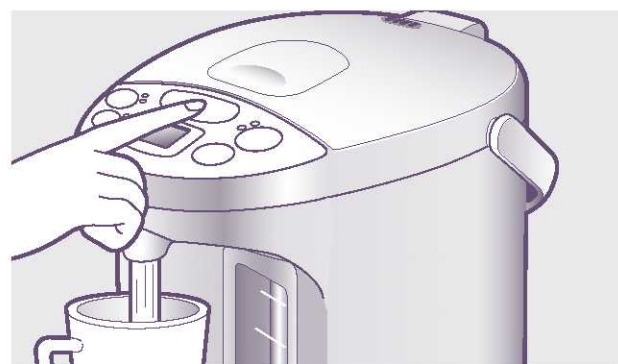
1 ロック解除 を押す

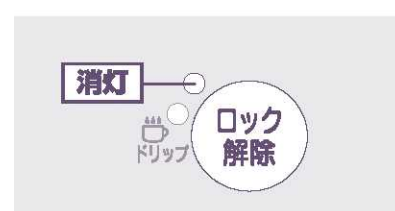
ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

●ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。

お願い

●内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯 を押して湯を注ぐ

注ぐとき本体が回らないように注意してください。

●湯沸かし直後やしばらく給湯していないときは、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯は捨ててください。
●湯沸かし中は湯を注がないでください。
●沸とう直後は湯が出にくいことがあります。
●湯沸かしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、「自動給湯ロック」がかかります。

自動給湯ロック

うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

●注がないときも約10秒後にロックされます。

湯を注いだあと、製品を傾けたり、揺すらないでください。
（注ぎ口からしずくが垂れてやけどの恐れ）

再沸とう 保温中の湯を再び沸かすときに使います。

沸かす を押す 湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始

再沸とうが終わるまでの時間
(室温23℃・満水の場合)
98保温の場合
3～4分
90保温の場合
5～8分

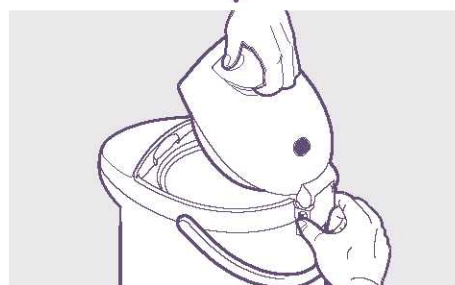
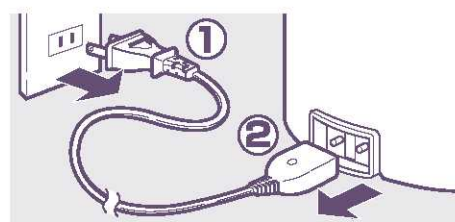
再沸とうが完了すると保温に切りかわります

●「沸かす」キーを2度押すとセーブコースに入ります。→P.12
●湯沸かし中は湯を注がないでください。
●再沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。
●省エネモード選択時は、再沸とうはできません。再沸とうするときは、一度省エネモードを解除してから「沸かす」キーを押してください。→P.12

お願い

●再沸とうするときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「沸かす」キーを押してください。

残り湯を捨てる

1 プラグを抜き、上ぶたをはずす

2 両手で本体を持ち「湯捨て位置」から捨てる

ハンドルをしっかりおさえてください。

湯を捨てるときは

●**捨てる湯や蒸気に注意してください。**（やけどの恐れ）
●**注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。**（やけどの恐れ）

お願い

●ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たないでください。（ショート・感電の恐れ）
●上ぶたは必ずはずして湯を捨ててください。（上ぶたがはずれ、やけどの恐れ）
●操作部やヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意してください。（やけど・故障の原因）
●容器ネットをなくさないでください。
●1日1回は残り湯を捨ててください。（水アカ付着の原因になります。）

空だき防止

●空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますのでご注意ください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電を停止し、表示でお知らせします。

●水を入れずにプラグを接続したとき
●給水表示以下の水量で湯沸かししたとき
●湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき
●プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

処置 **プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する**

98保温／80保温／70保温／まほうびん保温

[保温設定] を押して設定を切りかえる

キーを押すたびに表示部の「◀」マークが移動しますので用途に応じて合わせてください。

90 → 98 → 90 → 80 → 70 → まほうびん
(初期)

●切りかえは保温中でも行えます。
（湯温により、自動的に再沸とうを開始する場合があります。）

●セーブコース設定中は98保温・まほうびん保温を選べません。

プラグがはずれた場合

●誤ってプラグがはずれた場合、再びプラグを接続してください。
●数分間プラグがはずれた状態が続いたあと、再びプラグを接続すると、90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。

コーヒーや紅茶・カップめんに

98保温

98℃はコーヒーや紅茶・カップめんに適した温度です。

「98」を選ぶ

湯沸かしが終わると湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯

湯温が約98℃になると温度表示がかわる

●沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96～97℃で保温することがあります。

日本茶に

80保温

80℃は日本茶（煎茶）に適した温度です。

「80」を選ぶ

湯沸かしが終わると湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点滅
（保温中に設定した場合、80保温設定の2秒後に点滅にかわります。）

湯温が約80℃になると温度表示がかわり、保温ランプが点滅から点灯にかわる

湯沸かし完了後、湯温が80℃になるまでの時間

2.2Lの場合	約2時間40分
3.0Lの場合	約3時間10分
4.0Lの場合	約4時間10分

（室温23℃・満水の場合）

●水量・室温などにより時間が変化することがあります。
●湯温を早く下げたい場合は、湯量を減らしてください。
●湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。

赤ちゃんのミルク作りに

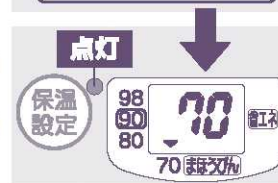
70保温

70℃は赤ちゃんのミルク作りに適した温度です。

「70」を選ぶ

湯沸かしが終わると、湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点滅
（保温中に設定した場合、70保温設定の2秒後に点滅にかわります。）

●湯温を早く下げたい場合は、水量を減らしてください。

湯温が約70℃になると温度表示がかわり、保温ランプが点滅から点灯にかわる

湯沸かし完了後、湯温が70℃になるまでの時間

1.0Lの場合	約2時間10分
2.2Lの場合	約4時間20分
3.0Lの場合	約5時間
4.0Lの場合	約6時間

（室温23℃の場合）

●水量・室温などにより時間が変化することがあります。
●湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。
●しばらく給湯していないときは、1杯目の湯は捨ててください。（湯がぬるい場合があります。）

■ **ミルクを作るときは・・・**

70℃の湯は赤ちゃんのミルク作りに適した温度です。
粉ミルクを溶かしてから**適温（人肌より少し熱め）まで冷ましてください。冷まさないで授乳すると、やけどの恐れがあります。**
・70保温ランプが点滅から点灯に切りかわっていることを確認してください。
・セーブコースを使用しないでください。 →P.12

電気代の節約に

まほうびん保温

沸とうが完了するとヒーターへの通電を停止し、まほうびん構造によって保温するので、電気代の節約になります。

「まほうびん」を選ぶ

湯沸かしが終わると湯沸かしランプが消灯

まほうびん保温に設定した場合の湯温

湯沸かし完了から	2時間後	4時間後	6時間後
2.2Lの場合	約88℃	約78℃	約70℃
3.0Lの場合	約91℃	約84℃	約77℃
4.0Lの場合	約93℃	約87℃	約81℃

（室温23℃・満水の場合。容器中央部の測定値）

●湯温は容器中央部の温度を測定したものです。時間の経過とともに容器内の湯温は上下で温度差が生じるため、平均的な温度として中央部を測定しています。
●湯温は徐々に下がりますが、まほうびん保温の場合は実際の湯温より低い温度を表示することがあります。
●湯量が少ないときは、湯温が早く下がります。
●まほうびん保温中に湯温が下がっても自動的に湯沸かしは始めません。必ず「沸かす」キーを押してください。
●湯沸かし中に設定すると、湯沸かし完了後にまほうびん保温になります。
●節約タイマーを使った場合は、設定時間後に湯沸かしが完了して、まほうびん保温になります。

セーブコース
（トリプルセーブ）

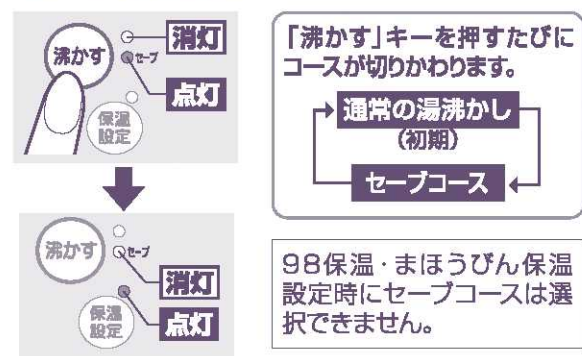
沸とうさせずに保温設定温度まで湯を沸かし※、保温する機能です。短時間で保温設定温度になります。

通常の湯沸かしにくらべ、湯沸かし時間を短縮し、蒸気の発生を抑え、電気代も節約できます。（トリプルセーブ）

アルカリイオン水や浄水器の水などカルキとばしの必要がない水の場合に設定してください。

※70保温設定時のみ、一度約80℃まで湯沸かししたあと、約70℃で保温します。
80℃まで湯沸かししたあと、湯温が約70℃になるまでの時間は約3時間です。（室温23℃・満水の場合）

湯沸かし中に（沸かす）を押し、セーブコースを選ぶ

98保温・まほうびん保温設定時にセーブコースは選択できません。

湯沸かしが終わるとセーブランプが消灯、保温ランプが点灯にかわる

（70保温設定時のみ、保温ランプが点滅したあとで保温ランプが点灯にかわる）

- セーブコース中は98保温・まほうびん保温を選べません。
- 節約タイマーを使用するときは、セーブコースを選択したあとに節約タイマーを設定してください。
- 水道水をお使いのときは、カルキ臭が残ることがあります。気になるときは通常の湯沸かしに設定してください。
- 水量・室温などにより湯沸かし完了後の実際の湯温は温度表示と異なることがあります。
- 水量・室温・気圧により蒸気が出ることがあります。

お願い

- 沸とうさせていないため、ミルク作りをするときには設定しないでください。
- **セーブコースは沸とうさせない機能ですが、蒸気口は高温になりますので、手を触れないでください。**

省エネモード／ 節約タイマー

●省エネモード	約2時間操作がない	ときは、自動でヒーターへの通電を停止したあと、約70℃で保温し、電気代を節約できます。
●節約タイマー（6H~10H）	就寝時などしばらく	使わないときは、時間を設定することにより電気代を節約できます。（節約タイマー中はヒーターへの通電が止まります。）

（省エネ/タイマー）を押し、省エネモードまたは節約タイマー（6H~10H）に設定する

- 省エネモードと節約タイマーを同時に設定することはできません。

押すたびにモード・設定時間が切りかわります。

70保温・まほうびん保温の場合
節約タイマー
6H→7H→8H→9H→10H
取消

70保温・まほうびん保温設定時に省エネモードは選択できません。

省エネモードを選択の場合

省エネモード選択後約2秒間、温度表示が消灯

省エネモードが確定すると温度表示が点灯

省エネ待機中

省エネ待機中

連続して約2時間操作がないとき

省エネ開始

自動でヒーターへの通電を停止したあと、約70℃で保温します。

元の設定温度に復帰させたいとき

（沸かす）を押す

待機中に戻ります

- 湯温が設定温度未満のときは、湯沸かしランプが点灯し設定温度まで復帰します。復帰直後は設定温度より高い温度になることがあります。
- 湯温が設定温度以上のときは「沸かす」キーを押しても変化はありません。

省エネモードを解除する場合は

を1回押す

さらに

節約タイマーに選びなおす場合は

を数回押して希望の時間に設定する

以下の場合も省エネモードが解除もしくは一時解除になります。

- 省エネモード時に70保温・まほうびん保温を選択したとき
- 「沸かす」キーを押したとき
  （設定温度に達したあと、省エネ待機状態に戻ります。）

- 保温設定温度に復帰直後しばらくは湯が出にくいことがあります。また保温設定温度と復帰直後の温度表示は異なる場合があります。
- 省エネモード時は再沸とうしません。再沸とうさせたい場合は、一度省エネモードを解除してから「沸かす」キーを押してください。
- 水をつぎ足すと、自動で湯沸かしが始まりますが、つぎ足す水の量が少ないと湯沸かしにならないことがあります。その場合は、一度省エネモードを解除してから「沸かす」キーを押してください。

節約タイマー（6H~10H）を選択の場合

自動的に節約タイマーを開始

設定時間後に湯沸かし完了

湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯

室温・水温・水量により設定時間前に湯沸かしが完了することがあります

- タイマーを取り消すときは、「省エネ/タイマー」キーを数回押すか「沸かす」キーを1回押してください。
- 節約タイマー設定時にセーブコースは選べません。

プラグがはずれた場合

- 数分間プラグがはずれた状態が続いたあと、再びプラグを接続すると、90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。
- 一度プラグがはずれると、「省エネモード/節約タイマー」は解除されますので再度設定してください。

カフェドリップ給湯

少量（通常給湯の約60%）ずつ給湯できるので、湯のはね返りが少なくコーヒードリップに最適です。

 を2回押す

ドリップランプが点灯し、カフェドリップ給湯にかわります。

●カフェドリップ給湯になったあと、さらに「ロック解除」キーを押すと、通常の給湯モードに戻ります。
●ドリップランプが点灯している間（約60秒）注げます。
●湯量が少ないときや沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。（「給湯」キーを押してから湯が出るまで時間がかかります。）

給湯 を押して湯を注ぐ

ランプが消えると「自動給湯ロック」がかかります。

お願い
●やけどに十分注意してください。
●簡易型レギュラーコーヒーは、ドリッパーが倒れないようにしっかりとカップにセットしてご使用ください。
●コーヒーをドリップするときは1杯目の湯は捨ててください。（湯がぬるい場合があります。）

内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。
1年を目安にご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

はずし方

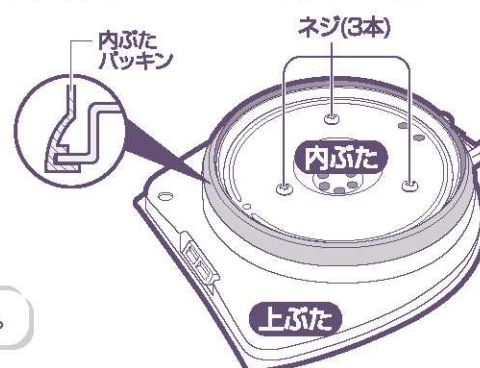
①3本のネジを緩める
②内ぶたパッキンをはずす

●ネジは緩めるだけではずさないでください。万一はずれた場合は、ネジをなくさないでください。

つけ方

①内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
②ネジを確実に締めつける

●内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら… ▶ 新しい内ぶたパッキン(有料)と交換してください。

**内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどや上ぶたが早く傷む原因になります。
内ぶたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。**

お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯を捨て、本体が冷めてから行ってください。

お願い
●底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。（内部に水が入り、故障・さびの原因）
●シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・漂白剤などを使わないでください。（フッ素被膜が傷つく原因）
●食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。（樹脂の変形の原因）
●長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

内ぶた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る

内容器

定期的にクエン酸洗浄をする→P.16

以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。
●赤さび状の斑点（もらいさび）がある
●乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
●湯を沸かしたとき、大きな音がする
●湯がにおう
（使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状態は異なります。）

容器ネット

内容器からはずし、ブラシで洗う

引き抜くとはずれます。
取りつけるときは、しっかりと押し込みます。

汚れが取れない場合は、容器ネットを交換してください。→P.16

●お手入れ後は必ず取りつけてください。（異物が電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因）

電源コード

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

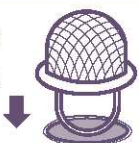
本体・上ぶた

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

●丸洗いや操作部・水量表示部には水をかけないでください。
（内部に水が入り、故障・さびの原因）

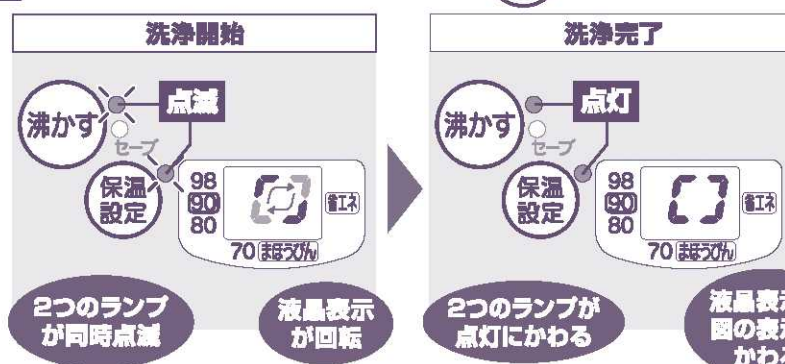
クエン酸洗浄（ピカポット）

泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット（ポット内容器洗浄用クエン酸）をお使いください。（別売品）→ 下記参照

準備 内容器に容器ネットが取りつけられているか確認する

●容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。

1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示（△ここまで）まで入れる

お願い
●水は満水表示以上入れないでください。（ふきこぼれる恐れ）

2 上ぶたを閉めプラグを接続して、（沸かす）を3秒以上押す

洗浄時間※
約1時間30分
※洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

3 プラグ・上ぶたをはずして湯捨て位置から湯を捨てる
（ヒンジ部に湯がかからないように注意してください。）

湯を捨てるときは
●捨てる湯や蒸気に注意してください。（やけどの恐れ）
●注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。（やけどの恐れ）

4 水だけを沸かし、湯をコップ1杯程度吐出させたあと、残りの湯を捨てる
（内容器および注ぎ口内部をすすぐため）

途中でクエン酸洗浄を取り消す場合は
プラグを5秒以上 抜いてください。

●汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器や容器ネットにカルシウムなどの汚れが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯が出にくくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は裏表紙参照）

	部品名	部品番号
消耗品	内ぶたパッキン	625702-00
消耗品	容器ネット	BF297053G-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット(30g×4包入)	CD-KB03-J
別売品	電源コード	CD-KD12-J

商品Q&A

質問	回答	参照
水以外のものを入れてもいいのですか？	水以外は入れないでください。入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。また、本体の故障の原因になります。	P.2
毎日湯はかえないといけないのですか？	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、水アカ付着の原因となり、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯が出にくくなります。	P.8
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか？	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	P.7 P.16
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった！！	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って処置してください。	
電気ポットの電源を入れたまま外出しても大丈夫？	万一、水がなくなっても空だき防止機能によりヒーターへの通電を停止しますので、ご安心ください。ただし、空だきを繰り返すと内容器のフッ素被膜が変色したりはがれたりする原因になりますので注意してください。	P.9

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

	こんなときは	お調べいただくこと	直し方
湯を沸かす	湯が沸かない	プラグがはずれていませんか？	プラグを差し込んでください。
	沸とうしない	セーブコースを選んでいませんか？（セーブコースは沸とうしません。）	「沸かす」キーを押し、通常の湯沸かしを選んでください。→P.12
	湯がにおう	内容器に水アカなどがついていませんか？	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.16
		お手入れ(クエン酸洗浄)されていますか？	
		長期間使っていなかったのでは？	一度湯を沸かし「給湯」キーを押し、1L程度の湯を注いだあと、残り湯を捨ててからご使用ください。→P.7
		水道水をセーブコースで湯沸かしした 水道水をお使いの場合、カルキが80%除去されるまでに湯沸かし完了から約15分かかります。	気になるときは、通常の湯沸かしを選んでください。→P.12
		●使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 ●水道水に含まれる消毒用塩素（カルキ臭）が残ることがあります。	
	注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか？	水を満水表示以下に減らしてください。
	セーブコースが選べない	98保温・まほうびん保温になっていませんか？	90保温・80保温・70保温に設定してからセーブコースにしてください。→P.12
	セーブコースで、98保温・まほうびん保温が設定できない	セーブコースで98保温・まほうびん保温は設定できません。	
	セーブコースで湯沸かし中、蒸気が出る	●セーブコースは沸とうさせない機能ですが、室温・水量・気圧により蒸気が出ることがあります。	
湯を注ぐ	湯がぬるい	湯沸かし直後やしばらく給湯していないときは、湯がぬるい場合があります。	1杯目の湯は捨ててください。
	湯が出ない 出にくい	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなることがあります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がしたあと上ぶたを閉めてください。(蒸気に注意)
		内容器・容器ネットに水アカなどがついていませんか？	内容器・容器ネットをお手入れしてください。→P.15
		自動給湯ロックになっていませんか？	（ロック解除）を押してから（給湯）を押してください。→P.8
		プラグがはずれていませんか？	プラグを差し込んでください。

故障かなと思ったとき つづき

	こんなときは	お調べいただくこと	直し方
湯を注ぐ	湯が出ない 出にくい	水路にカルシウムが付着して湯が出にくくなることがあります。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.16
保温	湯の中で膜状のものが浮遊している（フッ素被膜がはがれてきているのでは？）	水の成分（ミネラル分）によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
	内容器に乳白色のザラザラしたものがつく 湯沸かし中に大きな音がする	水の成分（ミネラル分）によるもので、内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	
	内容器に赤さび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	
	湯が冷めやすい（まほうびん保温設定時）	湯が少なくなっていませんか？	水を足し（満水表示以下）、沸かす を押してください。
	湯がぬるい	設定をまほうびん保温にしていませんか？ヒーターへの通電を停止していますので、湯温は徐々に下がります。 省エネモードや節約タイマーになっていませんか？	沸かす を押してください。 →P.11～12
こんな表示をしたときは	ランプが点灯し、液晶が図のような表示をする	水は少なくないですか？プラグ接続直後に熱湯を入れませんでしたか？空だき防止機能がはたらいています。	プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続してください。→P.9
	2つのランプが同時点滅し、液晶表示が回転する	「沸かす」キーを3秒以上押しませんでしたか？クエン酸洗浄中です。	クエン酸洗浄を取り消す場合、プラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度接続してください。→P.16
	液晶が E3・E4 表示をする	故障です。	お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

水アカ
お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が、内容器や容器ネットに付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。

上ぶたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。 上ぶたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.14
	樹脂部品	●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。 食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきたときは、交換（有料）してください。
その他	本体が熱くなる	●湯温や室温が高いときは本体外側が約60℃になることがありますが異常ではありません。
	電源コードが熱くなる	●湯沸かし中は、電源コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。
	上ぶたを開閉するときに「カタカタ」という音がする	●万一転倒した場合に湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。 異常ではありません。
	表示部がくもる	●蛇口から直接給水したり、流し台に置いて底面がぬれたりすると、本体に水が浸入し、表示部がくもることがあります。ショート・感電の原因になりますので使用を中止してください。

内容器（フッ素加工）は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕　様

型　名		CV-TT22	CV-TT30	CV-TT40
定格容量		2.2L	3.0L	4.0L
電源		交流100V　50/60Hz		
消費電力		905W		
消費電力量	年間	283kWh/年	329kWh/年	368kWh/年
	1日当たり	0.78kWh/日	0.90kWh/日	1.01kWh/日
コードの長さ		1.0m		
外形寸法(約cm)		幅21×奥行28.5×高さ26	幅21×奥行28.5×高さ30	幅21×奥行28.5×高さ35
質量(コード含む)		約2.5kg	約2.7kg	約3.0kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		約2.0W		

●消費電力量とは、日本電機工業会自主基準による測定の場合です。●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
（室温23℃、湯沸かし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90℃で23時間/1日、365日/年間）
●節約タイマー使用時の消費電力は約0.3Wです。●電動ポンプ(電動機)消費電力とは、給湯時の消費電力です。
●特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。
●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。
另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。
另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다.
A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、内ぶたパッキン・容器ネットは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

3. 修理を依頼されるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。